

平成 27 事業年度の財務諸表について(概要)

国立大学法人秋田大学の平成 27 事業年度の財務諸表が、平成 28 年 6 月 28 日付けで文部科学大臣の承認を受けましたので、ここに公表いたします。

秋田大学においては、平成 26 事業年度の決算において、寄附金の使途変更における適正な手続きを経ることなく寄附金収益に振り替えるという処理が行われ、その結果、寄附金収益 722 百万円が過大に計上されていたため、平成 27 年度において同額を臨時損失―過年度損益修正損として計上し、寄附金債務を修正しております。

修正後の財務諸表から本学の財政状態を見ると、平成 28 年 3 月 31 日における資産の総額は 57,783 百万円、負債の総額は 34,906 百万円、純資産の総額は 22,877 百万円となりました。

また、運営状況については、平成 27 事業年度の経常費用は 33,167 百万円、経常収益は 33,708 百万円、臨時損失は平成 26 年度決算の修正に伴う過年度損益修正損等により 786 百万円、臨時利益が 157 百万円計上された結果、当期総損失は 87 百万円となりました。

秋田大学は、引き続き効果的、効率的な大学運営を行なうとともに、地域に貢献する大学として教育研究活動の一層の発展・充実に努め、今後、不適切な会計処理を行わないよう再発防止策等について不断に見直しを行い、信頼回復に向けて教職員が一丸となって取り組んでまいります。

平成 28 年 7 月

国立大学法人 秋田大学

貸借対照表の概要

(百万円)

	平成26年度	平成27年度	増減
資産の部	64,462	57,783	△ 6,678
固定資産	54,319	49,905	△ 4,413
土地	15,671	13,231	△ 2,439
建物、構築物	30,864	30,047	△ 817
工具器具備品、機械装置等	5,353	4,061	△ 1,292
図書・美術品等	1,836	1,862	26
建設仮勘定	337	256	△ 81
その他固定資産	256	446	190
流動資産	10,143	7,878	△ 2,264
現金・預金	6,184	2,969	△ 3,214
未収入金等	3,496	3,463	△ 32
その他流動資産	462	1,445	982

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しているため、合計金額は必ずしも一致しません。

【主な増減理由】

資産の部は、対前年度△6,678百万円となっております。

固定資産の主な減少要因としては、土地について、本道地区の地価下落に伴い土地の減損を行ったこと、建物等、工具器具備品等について、附属病院再開発事業や新学部設置事業等が完了したことにより、取得による増加よりも、減価償却による減少が大きくなったこと等が挙げられます。

流動資産の主な減少要因としては、現金・預金が減少したことが上げられます。

(百万円)

	平成26年度	平成27年度	増減
負債の部	38,856	34,906	△ 3,950
固定負債	30,059	28,161	△ 1,897
資産見返負債	10,688	9,974	△ 713
財務・経営センター債務負担金、長期借入金	18,795	17,518	△ 1,276
その他	575	667	92
流動負債	8,797	6,745	△ 2,052
運営費交付金債務	501	0	△ 501
寄附金債務	1,227	1,931	704
未払金、未払費用等	4,852	2,596	△ 2,256
その他	2,215	2,216	0
純資産の部	25,605	22,877	△ 2,727
資本金	20,413	20,413	0
資本剰余金	4,523	1,882	△ 2,640
利益剰余金	668	581	△ 87

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しているため、合計金額は必ずしも一致しません。

【主な増減理由】

負債の部は、対前年度△3,950百万円となっております。

主な減少要因としては、長期借入金について、附属病院再開発の完了により新規借入が減少したこと、未払金等が減少したことが挙げられます。

また、寄附金債務の増加は、平成26年度決算で過大に収益化された寄附金債務722百万円を修正したことによるものです。

純資産の部は、対前年度△2,727百万円となっております。

主な減少要因としては、上記の土地の減損等により資本剰余金が減少したことが挙げられます。

損益計算書の概要

(百万円)

	平成26年度	平成27年度	増減
経常費用	33,402	33,167	△ 235
業務費	32,223	31,812	△ 410
一般管理費	908	1,110	201
財務費用	270	244	△ 26

(百万円)

	平成26年度	平成27年度	増減
経常収益	32,610	33,708	1,097
運営費交付金収益	8,338	9,471	1,133
学生納付金収益	3,042	3,065	23
附属病院収益	16,514	17,635	1,121
寄附金収益	1,411	631	△ 779
その他	3,304	2,904	△ 400

臨時損失	77	786	708
------	----	-----	-----

臨時利益	39	157	117
------	----	-----	-----

目的積立金取崩額	19	0	△ 19
----------	----	---	------

当期総利益	△ 810	△ 87	723
-------	-------	------	-----

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しているため、合計金額は必ずしも一致しません。

【主な増減理由】

(経常費用)

経常費用は、対前年度△235百万円となっております。

業務費については、附属病院再開発事業や新学部設置事業等が完了したことにより全体的に費用が減少しております。一方、一般管理費については、当年度実施したPCB廃棄物処理に係る費用を計上したため増加しております。

(経常収益)

経常収益は、対前年度+1,097百万円となっております。

主な増加要因としては、運営費交付金収益の増、附属病院収益の増が挙げられます。

また、寄附金収益の減少は、平成26年度決算において寄附金収益を過大に計上していたことによるものです。

(当期総損益)

当期総損益は、対前年度+723百万円となっております。

平成27年度決算において、経常損益では上記のとおり541百万円の利益を計上しておりますが、臨時損失として786百万円（平成26年度決算における寄附金収益の過大計上を修正するための過年度損益修正損(722百万円)等）、臨時利益として157百万円（第2期中期目標期間終了に伴う運営費交付金の精算等）を計上した結果、当期総損益は△87百万円となっております。

キャッシュフロー計算書の概要

(百万円)

	平成26年度	平成27年度	増減
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	1,710	2,585	875
原材料、商品又はサービスの購入による支出	△ 13,431	△ 13,157	274
人件費支出	△ 15,632	△ 15,683	△ 50
その他の業務支出	△ 634	△ 966	△ 331
運営費交付金収入	9,744	9,599	△ 145
学生納付金収入	2,792	2,837	44
附属病院収入	16,133	17,665	1,532
その他の業務収入 等	2,738	2,290	△ 447
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,689	△ 3,060	628
有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出	△ 5,794	△ 3,401	2,392
施設費による収入	1,301	538	△ 763
有価証券の償還による収入 等	803	△ 197	△ 1,000
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 613	△ 1,739	△ 1,126
長期借入れによる収入	1,229	94	△ 1,135
長期借入金の返済による支出/財務経営センター債務負担金に係る支出	△ 1,186	△ 1,300	△ 113
リース債務の返済による支出 等	△ 656	△ 534	112

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しているため、合計金額は必ずしも一致しません。

【主な増減理由】

(業務活動によるキャッシュ・フロー)

業務活動によるキャッシュ・フローは、対前年度+875百万円となっております。

主な増加要因としては、附属病院収入の増加が挙げられます。主な減少要因としては、その他の業務収入の中の補助金等収入が対前年度△523百万円となったことが挙げられます。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、対前年度+628百万円となっております。

主な増加要因としては、有形固定資産及び無形固定資産の取得に要する支出の減少が挙げられます。主な減少要因は、施設整備費補助金の減少及び有価証券の償還による収入の減少等が挙げられます。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、対前年度△1,126百万円となっております。

主な減少要因としては、長期借入れによる収入の減少が挙げられます。